

| | | | | | |
|--------|--|-----------|-----------|-------|--------------------|
| 学校教育目標 | 「かしこく、なかよく、たくましく、ともに進む 星の子」 ○解決したい問題を持ち、いきいきと追究していく子を育てます。(知) ○豊かな感性と思いやる心を持ち、自分も友だちも大好きな子を育てます。(徳) ○命を尊び、心も体も健やかであり続ける子を育てます。(体) ○星川のまちに学び、星川のまちを愛し、ともに生きる子を育てます。(公) ○社会の変化を受け止め、対応できる子を育てます。(開) | | | | |
| | 創立 147 周年 | 学校長 小西 俊光 | 副校長 宮台 純子 | 2 学期制 | 一般学級: 12 個別支援学級: 1 |
| 学校概要 | 児童生徒数: 383 人 主な関係校: 保土ヶ谷中学校 岩崎中学校 | | | | |

| 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 | 中ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
|--|--|---|
| <p><自己も他者も尊重し、互いにかかわっていく力> <自ら進んで挑戦していく態度></p> | <p>保土ヶ谷中学校 常盤台小学校 上星川小学校 坂本小学校 仏向小学校</p> | <p>「9年間の連続した学びのあり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点研究に中学校ブロックの先生方が参加できる体制をつくり、研究テーマをもとに授業研究を行い、学習指導の共有を図る。 教務会や専任会で定期的に情報交換を行い、中学校との連携を踏まえた「星川スタイル」の改善を進める。 6年生が進学する2つの中学校との交流の機会を設ける。 |

| | |
|--------|--|
| 中期取組目標 | <p>○地域の公立学校として保護者や地域と協働して魅力ある学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもが、学ぶ楽しさを実感し互いに高め合う姿が見られる授業を行い、学力の向上を図ります。 一人ひとりの子どもが大切にされる学校・学級づくりがなされ、安心して学校生活が過ごせるようにします。 人との関わりを大切にし、家庭や地域と連携して社会の要請や信頼に応えた開かれた学校づくりを進めます。 全教職員が「チーム星川」として学校経営に主体的に関わり、創造的な教育活動に取り組む組織づくりを行います。 |
|--------|--|

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|------------------|---|
| 生きてはたらく知 | ①児童が主体的に取り組むことができるよう児童の問いや追究の道筋を大切に授業展開を工夫する。②学習の見通しや振り返りを重視する。③「自己の学びを大切にして、ともに高め合う子」を育成を目指し、自分の考えや思いを表現し、協働的に問題解決する活動を設定する。 |
| 豊かな心 | ①学年を超えたつながり、自己理解や他者理解を深めるために、たてわり班活動を充実させる。②ろう特別支援学級や保育園等との継続的な交流を通して、相手の立場や気持ちを考えながら主体的に行動する態度を育成する。③道徳の授業について研修し、年1回授業参観にて授業を公開する。 |
| 健やかな体 | ①生涯スポーツの土台となるよう、遊びや体育などを通して体を動かす楽しさを味わわせる。②体力アップの取組として「縄跳び」を取り上げ、年間を通して体力の向上に励む。③正しい姿勢で生活することの大切さをテーマにして、保健委員会を中心に様々な取り組みを行う。 |
| 児童指導 | ①「学校のきまり」と「星川スタイル」を定期的に見直すとともに全職員で共有して指導にあたる。②「あいさつ」「掃除」「読書」を充実させる為に、児童支援委員会や児童実行委員会での取組を計画、実行する。③児童支援全体会を毎月設け、児童の状況を職員全体で共通理解する。 |
| 特別支援教育 | ①「特別支援教室(わくわく教室)」を計画的に運営し、個のニーズに合わせた支援を行う。②新しくなった個別の教育支援計画・個別指導計画について研修を行い、効果的に活用する。③一般級と個別支援学級の連携の強化に向けて、教員の情報交換を密に行うとともに、児童の交流会を行う。 |
| 地域連携 | ①地域防災訓練、星の子まつり、もちつき大会等、地域との協働による行事に対して、地域と学校が計画、準備等を協力して進め、児童と職員が積極的に参加できるようにする。②星の子学習広場、星の子ふれあい教室等、地域のボランティアの教育力を活用して、学習支援等を行う。 |
| 教育環境整備 | 施設の修繕及び備品等の更新を通して学習・生活環境の充実に努める。①校舎内の老朽化の程度を点検し、修繕の優先順位をつける。②机いす等児童に近い物から更新を進めていく。③教材・教具において教科担当等の要望を整理し、計画的で適正な予算の執行に努める。 |
| いじめへの対応 | ①児童の思いを真摯に受けとめて対応できるよう、児童との良好な関係づくりに努める。②多様な視点で児童の様子を把握できるよう、学年や低中高ブロック単位で児童の指導や支援にあたる。③いじめ防止対策委員会を月に1回以上開き、組織的にかつ迅速に対応にあたる。 |
| 人材育成・組織運営(働き方改革) | ①キャリアステージを基に自らの目標を明確にし、校内OJT体制も活用しながら研究・研修を実施し、教師力を高め合う。②主幹会や面談を通して、学校リーダー等が全体を見通した学校運営に携わる場を設定し、参画意識の向上を図る。③チーム力を生かした学年・学校運営を充実させ、教育効果を上げながら、自らの働き方改革を進める。 |